

第三回 練習問題

(一) 次の――線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

1 浴道で祭りの見物をする。

2 赤い夕日が水面に映って美しい。

3 木の切り株をテーブルにする。

4 あつという間に全巻を読み終えた。

5 海辺で魚の丸干しを売っていた。

6 あの人はたいへん度胸のある人だ。

7 信じられない光景に目を疑った。

8 列車は帰郷する人で満員だ。

9 思いやりあふれる行いに感激する。

10 日が暮れる前に家に帰る。

(10)
1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(一) 読み

(一) 小計	10
--------	----

総得点	点 100
-----	----------

(二) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

1 人員点コ

2 ワリ引料金

3 南極タン検

4 リン機応変

(三)

次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3…)で答えなさい。

例 定 (何画目) (何画目) (総画数)

誠 (何画目) (総画数)

卵 (何画目) (総画数)

論 (何画目) (総画数)

(6)
1×6

6	5	4	3	2	1

(三) 画数

(三) 小計	6
--------	---

(8)
2×4

4	3	2	1

(二) 四字の熟語

(二) 小計	8
--------	---

(四) 次の漢字の部首と部首名を後の□の中から選び、記号で答えなさい。

〈例〉作 (あ) (イ)

困 部首 (1) 部首名 (2)

詞 部首 (3) 部首名 (4)

陞 部首 (5) 部首名 (6)

〔部首〕

え	あ	い	う
下	イ	口	木
お	土	か	言

〔部首名〕

ア	ごん	べん	イ	にん	べん	ウ	く	に	が	ま	え
エ	き	オ	こ	ご	と	へん	カ	つ	ち		

(6) 1×6

6	5	4	3	2	1

(四) 部首と部首名

(四)	小計	6
-----	----	---

(五) 次の—線のカタカナの部分で漢字一字と送りがない(ひらがな)にしておきなさい。

〈例〉クラブのきまりをサダメル。 定める

1 屋根から雨水がタレル。

2 車中にかさを置きワスレル。

3 むだな部分をけずって文章をチヂメル。

4 うっかりして漢字の使い方をアヤマル。

5 ムズカシイ問題を解く。

(六)

漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。ア～エの記号で答えなさい。

(6) 2×3

ア	音と音	イ	音と訓
ウ	訓と訓	エ	訓と音

(10) 2×5

(五) 漢字と送りがない

5	4	3	2	1

(五)	小計	10
-----	----	----

(六) 音と訓

3	2	1

(六)	小計	6
-----	----	---

3 団子
2 翌日
1 節穴

(七)

後の□の中のひらがなを漢字に
なおして、**対義語**(意味が反対や
対になることば)と、**類義語**(意味
がよく似たことば)を書きなさい。
□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

対義語

往復 — (1) 道

読者 — (2) 者

保守 — (3) 新

類義語

役者 — 俳優 (4)

実直 — (5) 勉

かく・かた・きん
ちよ・ゆう

(10)
2×5

(七) 対義語・類義語

5	4	3	2	1

(七)	
小計	10

(八)

後の□の中から漢字を選んで、
次の意味にあてはまる**熟語**を作り
なさい。答えは**記号**で書きなさい。

(6)
2×3

(八) 熟語作り

3	2	1

(八)	
小計	6

1 病人の世話をすること。

2 必要なお金の出どころ。

3 国のいろいろな仕事をする役所。

ア	庁	イ	官	ウ	源	エ	護
オ	財	カ	看				

(九)

次の—線のカタカナをそれぞれ
別の漢字になおしなさい。

(8)
2×4

(九) 同じ読みの漢字

- 1 園児がハ|ラ|っぱで花をつんでいる。
- 2 友達どうしがハ|ラ|をわって話し合う。
- 3 試合の前にチームのシ|キ|を高める。
- 4 先生が合唱のシ|キ|をする。

4	3	2	1

(九)	
小計	8

(十)

漢字を二字組み合わせた熟語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。

- ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。
(例：強弱)
- イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。
(例：進行)
- ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの。
(例：国旗)
- エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。
(例：消火)
- オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。
(例：非常)

次の熟語は、右のア～オのどれにあたるか、記号で答えなさい。

- 1 去 来
- 2 植 樹
- 3 不 幸
- 4 困 苦
- 5 灰 色

(10)
2×5

5	4	3	2	1

(十) 熟語の構成

(十)	
小計	10

(十一)

次の——線のカタカナを漢字になおしなさい。

- 1 読みかけの本をトじる。
- 2 ダンリュウにのって魚がやってくる。
- 3 クラス対抗のリレーでユウシヨウした。
- 4 エンジンのコシヨウで車が動かない。
- 5 夏山でも岩登りはアブない。
- 6 ゴールのスンゼンで追いぬいた。
- 7 家の手伝いをスませてから遊ぶ。
- 8 健康を考えて食生活をカイゼンする。
- 9 夜空にきらめくセイザを観察する。
- 10 雨フって地固まる

(20)
2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(十一) 書き取り

(十一)	
小計	20

- (一) 1 えんどう 2 うつ 3 かぶ 4 ぜんかん 5 まるぼ
6 どきよう 7 うたが 8 ききよう 9 かんげき 10 く
- (二) 1 呼 2 割 3 探 4 臨
- (三) 1 8 2 13 3 7 4 7 5 13 6 15
- (四) 1 い 2 ウ 3 か 4 ア 5 え 6 才
- (五) 1 垂れる 2 忘れる 3 縮める 4 誤る 5 難しい
- (六) 1 ウ 2 ア 3 イ
- (七) 1 片 2 著 3 革 4 優 5 勤
- (八) 1 カ／エ 2 オ／ウ 3 イ／ア
- (九) 1 原 2 腹 3 士気 4 指揮
- (十) 1 ア 2 エ 3 才 4 イ 5 ウ
- (十一) 1 閉 2 暖流 3 優勝 4 故障 5 危
- 6 寸前 7 濟 8 改善 9 星座 10 降

(三)

筆順は、文字を書いていくときの筆の運び方の順序のこと。この順序で書くと、形の整った字を書くことができる。

3「卵」の筆順には、特に注意。

ノ レ ㇿ 卵 卵 卵

(五)

3「縮」の読みがなは、「ちぢ(める)」。 「ちじ(める)」としないように注意。

(六)

二字の熟語には、二字とも音読みするもの、二字とも訓読みするものが多いが、音読みと訓読みの混じった読み方をするものもある。

・重箱読み(音) 上の字が「音読み」、下の字が「訓読み」のもの。

〈例〉派手(音)・客間(音)・幕内(音)・台所(音)

・湯桶読み(音) 上の字が「訓読み」、下の字が「音読み」のもの。

〈例〉強味(音)・落度(音)・湯気(音)・手本(音)